

## 4 環境目標と実績

主要な環境活動について目標値を定め、環境負荷の継続的な低減に努めています。

項目	単位	実績			2009年度 目標値			
		2007年度	2008年度	2009年度				
地球環境問題への取り組み	供給面	販売電力量あたりのCO <sub>2</sub> 排出量 [ ]はCO <sub>2</sub> 排出クレジット反映前	kg-CO <sub>2</sub> /kWh	0.387	0.348 [0.374]	0.348 <sup>※2</sup> [0.369]	—	
		CO <sub>2</sub> 排出量 [ ]はCO <sub>2</sub> 排出クレジット反映前	万トン-CO <sub>2</sub>	3,410	2,990 [3,210]	2,910 [3,080]		
		販売電力量	億kWh	881	859	834		
	原子力利用率	%	85.8	84.6	84.8	83.3 <sup>※3</sup> 以上		
	新エネルギー等電気利用量	億kWh	6.3以上	7.5以上	8.9以上	8.9以上		
	送電端火力総合熱効率(高位発熱量ベース) [ ]は低位発熱量ベース換算値 <sup>※6</sup>	%	39.1 [41.6]	39.2 [41.8]	39.6 [42.2]	39.6 <sup>※3</sup> 以上 [42.2以上]		
	送配電ロス率	%	4.9	5.2	5.4	5.2 <sup>※3</sup> 以下		
	使用面	事務所における省エネ・省資源活動	お客様のCO <sub>2</sub> 排出抑制量 <sup>※7</sup>	万トン-CO <sub>2</sub>	—	—	9	9以上
			自家消費電力量	百万kWh	151	148	137	158 <sup>※3</sup> 以下
			オフィス電力使用量	百万kWh	87	84	82	84以下
コピー用紙購入量			トン	568	557	559	600以下	
上水使用量 <sup>※9</sup>			m <sup>3</sup> /人	35	32	33	36以下	
電気自動車導入台数(累計) <sup>※10</sup>		台	59	59	94	—		
一般車両燃料消費率		km/ℓ	12.9	12.2	12.1	12.2以上		
機器点検時のSF <sub>6</sub> 回収率		%	99	99	99	98以上		
機器点検時の規制対象フロン回収実施率		%	100	100	100	100		
循環型社会形成への取り組み		産業廃棄物リサイクル率	%	94	約100	約100	99以上	
	石炭灰リサイクル率	%	93	100	100	100		
	石炭灰以外リサイクル率	%	99	98	98	98以上		
	産業廃棄物社外埋立処分量	トン	220	349	381	500以下		
	古紙リサイクル率	%	100	100	100	100		
	グリーン調達率 <sup>※11</sup>	%	— <sup>※12</sup>	— <sup>※12</sup>	99	100		
地域環境の保全	火力発電電力量あたりのSO <sub>x</sub> 排出量	g/kWh	0.31	0.20	0.20	0.2程度		
	火力発電電力量あたりのNO <sub>x</sub> 排出量	g/kWh	0.23	0.20	0.19	0.2程度		
	原子力発電所周辺公衆の線量評価値(1年あたり)	ミリシーベルト	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満		

※1: 2009年度目標値に対する2009年度の達成状況を、「○: 達成」、「△: 概ね達成(達成率80%以上)」、「×: 未達成(達成率80%未満)」の3段階で評価。

※2: 暫定値であり、正式には「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき、国が実績値を公表。

※3: 2009年度供給計画に基づく見直し。

※4: 2010年度供給計画に基づく見直し。

※5: 「電気事業者による新エネルギー等の利用に関する特別措置法」(RPS法)に基づく全国利用量目標からの当社推定値。

※6: 総合エネルギー統計の換算係数を用いて換算。

用語集の解説をご覧ください

- 地球環境問題
- 発熱量
- SF<sub>6</sub>(六フッ化硫黄)
- 石炭灰
- シーベルト
- CO<sub>2</sub>排出クレジット
- 送配電ロス(率)
- 規制対象フロン
- グリーン調達
- 地球温暖化対策の推進に関する法律
- 原子力利用率
- 自家消費電力
- 循環型社会
- SO<sub>x</sub>(硫黄酸化物)
- 電気事業者による新エネルギー等の利用に関する特別措置法(RPS法)
- 新エネルギー(新エネ)
- 上水
- 産業廃棄物
- NO<sub>x</sub>(窒素酸化物)
- 線量評価値
- 熱効率
- 電気自動車(EV)
- リサイクル率

評 価 <sup>*1</sup>		経過目標値	目標値	関 連 ページ
		2010年度	2011年度	
-	原子力利用率の高水準維持や火力総合熱効率の維持・向上、CO <sub>2</sub> 排出クレジットの活用等により、2009年度の販売電力量あたりのCO <sub>2</sub> 排出量は0.348kg-CO <sub>2</sub> /kWhとなり、目標レベルである1990年度実績比20%低減を達成しました。	2008~2012年度平均の 販売電力量あたりのCO <sub>2</sub> 排出量を 1990年度実績比20%程度低減 (0.348kg-CO <sub>2</sub> /kWh程度にまで低減)		P09
○	原子力発電所の安全・安定運転に努めたこと等により、計画を上回る84.8%となりました。	79.6 <sup>*4</sup> 以上	83.3 <sup>*4</sup> 以上	P10
○	八丁原バイナリー発電所等の自社電源の運用や事業者からの電力購入に努めたこと等により、目標を達成しました。	10.5 <sup>*5</sup> 以上	10.5 <sup>*5</sup> 以上	P12
○	茶臼山発電所など高効率発電所の高稼働維持や効率維持のための適切なメンテナンスに努めたこと等により、過去最高レベルの39.6%となりました。	39.7 <sup>*4</sup> 以上 [42.3以上]	40.1 <sup>*4</sup> 以上 [42.7以上]	
△	送配電ロスが少ない高圧受電の大口電力需要が減少したことにより、計画を下回る5.4%となりました。今後とも、電力需要動向等に的確に対応した効率的な設備形成・運用に努めることにより、ロス率の低減を図ります。	5.2 <sup>*4</sup> 以下	5.2 <sup>*4</sup> 以下	P13
○	エコキュートや太陽光の普及支援等により、目標を達成しました。	9以上	9以上	
○	日常業務における省エネ活動の徹底に加え、高効率照明器具の導入等設備対策を計画的に進めたこと等により、目標を達成しました。	133 <sup>*4</sup> 以下	130 <sup>*4</sup> 以下	P14
○		81 <sup>*8</sup> 以下	80 <sup>*8</sup> 以下	
○	電子文書の活用によるペーパーレス化の推進やミスコピーの防止、及び古紙の裏面利用の徹底等により、目標を達成しました。	600以下	600以下	P15
○	社員の取組意識の向上や、水道パルプ絞り込み等の具体的な節水対策を実施したことにより、目標を達成しました。	36以下	36以下	
-	車両配車計画に基づき、2009年度は計画通り36台導入(1台廃止)しました。今後も、計画的に社用車への電気自動車の導入拡大を図っていきます。	2020年度までに1,000台程度		P18
△	エコドライブの徹底や、低燃費車への計画的な切替えを行いました。目標を下回る12.1km/ℓとなりました。今後も、エコドライブに努めるなど、燃料消費率の更なる向上を目指します。	12.3以上	12.4以上	
○	設備管理部門の自主管理により、点検時における真空型SF <sub>6</sub> ガス回収装置の使用徹底等を図り、目標を達成しました。	98以上	98以上	P19
○	設備管理部門の自主管理により、法令基準レベル(撤去時における法定圧力)までの規制対象フロン回収の確実な実施を図り、目標を達成しました。	100	100	
○	石炭灰の特性を活かしたセメント原料やコンクリート混和材等への石炭灰の100%有効利用に加え、産業廃棄物共同回収品目に廃乾電池を追加するなど、3Rの着実な実践に努めたことにより、リサイクル率、産業廃棄物社外埋立処分量ともに目標を達成しました。	99以上	99以上	P20
○		100	100	
○		98以上	98以上	
○	グループ会社の九州環境マネジメント(株)等リサイクル会社へ確実に引き渡すなど、古紙100%リサイクル活動の継続的な取り組みにより、目標を達成しました。	500以下	500以下	P21
○	ほぼ目標レベルに達していますが、引き続き、社内への周知徹底やお取引先との協働などにより、調達率100%の達成に向け取り組んでいきます。	100	100	
○	排煙脱硫装置や排煙脱硝装置の適正な運用など、SO <sub>x</sub> ・NO <sub>x</sub> 低減対策の着実な実施により、目標を達成しました。	0.2程度	0.2程度	P42
○		0.2程度	0.2程度	
○	原子力発電所における、法令にのっとった適正な設備運用や放射性廃棄物の管理により、目標を達成しました。	0.001未満	0.001未満	

※7:一般のご家庭に対する省エネPR、エコキュートの導入、太陽光の普及、及び法人お客さまへの電気式空調・給湯の普及、省エネ診断による当該年度の省エネ効果の横上げ。

※8:2009年度実績等を踏まえ、目標値を見直し(従来目標比▲2百万kWh)。

※9:全社の上水使用量を当社在職者数(当該年度末)で除した値。

※10:プラグインハイブリッド車(PHEV)を含む。

※11:調達範囲は、汎用品(事務用品、雑貨等)で社会的に認知された基準に適合した製品等。

※12:2008年1月に発覚した古紙パルプ配合率未達問題の影響により、正確なグリーン調達率の算出が困難なことから、算出を見送り。

- バイナリー(発電)
- エコキュート
- エコドライブ
- 低燃費車
- 3R
- 排煙脱硫装置
- 排煙脱硝装置
- 放射性廃棄物
- プラグインハイブリッド車(PHEV)

用語集の解説をご覧ください